



経営者・従業員の為の 健康ひとくちメモ



(公財)福井県健康管理協会 県民健康センター所長 松田 一夫

職場におけるがん対策 ～がん検診、がん治療と仕事との両立～

九月はがん征圧月間

今や、日本人の2人にひとりが「がん」になる時代です。大腸がんを始めとして多くのがんは加齢とともに増えますが、乳がんは40歳代～60歳代、子宮頸がんは30歳代～40歳代と、まさに働き盛りに多く発見されます。

職場における受動喫煙防止

がんの最大の原因は煙草です。健康増進法の改正により東京オリンピック前の2020年4月から受動喫煙防止が全面施行され、違反すると罰金が科されます。家庭のみならず職場でも周りの人にタバコの煙を吸わさず、また加熱式煙草ではなく禁煙に挑戦してください。

国が推奨するがん検診

肺がん検診や大腸がん検診を職場の健康診断で受ける方は多いと思いますが、胃がん検診や乳がん検診、子宮頸がん検診は受けられないかも知れません。職場でのがん検診は法律で義務

化されていないため、受けられない人がいるのです。職場でがん検診を受けられない人は、是非、市や町のがん検診を受けてください。

将来的には公務員、会社員、自営業等を問わず、すべての人が基本的に市や町が行っているがん検診と同じものを、受けられる体制が必要です。かと言って40歳以上の女性に対して2年に1回の受診が推奨されている乳がん検診を、40歳前に受けることや、毎年受けることが必ずしも良い訳でもありません。

がん治療と仕事との両立

がんが見つかるのと誰しも不安ですが、がんの治療成績は以前よりも格段に良くなり、早期に発見すればほぼ100%治るがんもあります。また抗がん剤や放射線による治療を外来で受けることもでき、仕事の継続も可能です。がんと診断されてもすぐに退職せず、職場の責任者とよく相談し、適切な治療を受け、元気に職場復帰してください。



国が推奨している5つのがん検診

	方法	対象年齢、間隔
胃がん	胃X線検査 <small>あるいは</small> 胃内視鏡検査	50歳以上、2年に1回 ※胃X線検査は40歳以上、毎年可
肺がん	胸部X線検査+ <small>痰液検査・血液検査</small> では 喀痰細胞診	40歳以上、毎年
大腸がん	便潜血検査	40歳以上、毎年
乳がん	マンモグラフィ	40歳以上、2年に1回
子宮頸がん	子宮頸部腫瘍細胞診	20歳以上、2年に1回

子宮頸・乳(女性)および大腸がん(男女)の年齢階級別罹患患者数(福井県がん登録, 2012-14年合計)

